

災害時に必要な産業保健専門職の コンピテンシーリスト

このコンピテンシーリストは、災害時に産業保健サービスが効果的に提供されるために、産業保健専門職が備えるべき知識、スキル、行動特性等、または高い成果をあげるための職務遂行能力である「コンピテンシー」をリスト化したものです。災害時の対応は、災害発生時から復旧・復興期までの長期にわたり、時間経過とともに変わる状況に柔軟に対応しながら、的確なアセスメントや実践が求められます。本コンピテンシーリストは、災害に備えた平時での自己研鑽の資料として活用していただくこともできますし、災害時に自己の対応を振り返る資料として活用していただくことも可能です。各項目を読み、どのレベルに当てはまるかをチェックいただき、今後の自己研鑽にお役立てください。

評価の記載方法

以下 1～26 の項目を読み、5段階評価で該当する番号に○を付けてください

5

独立して十分に
実践できる

4

部分的に独立して
実践できる

3

助言を受けながら
実践できる

2

助言を受けながら
部分的に実践できる

1

知識として
理解できる

状況に応じた実践力

災害に伴う産業保健上のリスクをアセスメントし優先順位を決めて実践する力

備考

1	刻々と変わる状況を的確にアセスメントし、起こり得る産業保健上のリスクを洗い出す	評価	5 4 3 2 1	
2	災害が社員や事業場に及ぼす影響を長期的な面も含めて理解する	評価	5 4 3 2 1	
3	潜在しているニーズを抽出し社員や会社に伝達する	評価	5 4 3 2 1	
4	今ある資源や機動力を見積り優先順位をつけて業務を組み立てる	評価	5 4 3 2 1	
5	災害対応における指示命令システムを確認し、役割分担して業務にあたる	評価	5 4 3 2 1	
6	災害時に産業保健部門の力が最大限に発揮できるように備える	評価	5 4 3 2 1	
7	平時より社員や会社から信頼される関係性を築く	評価	5 4 3 2 1	
8	自分の言動や判断を内省し、次につなげる	評価	5 4 3 2 1	
9	災害時の経験で得た気づきや知見を記録に残す	評価	5 4 3 2 1	

組織調整力

組織内・産業保健チーム内で役割分担し立ち位置を定め、効果的な方法を考え工夫する力

備考

10	事業場の被災状況・復興状況を把握し、組織の意思決定を引き出すための戦略を練る	評価	5	4	3	2	1	
11	目的達成に役立つネットワークを活用・構築する	評価	5	4	3	2	1	
12	必要な情報やデータを可能な範囲で収集し分析に活かす	評価	5	4	3	2	1	
13	確実に社員に情報が伝わる仕組みや工夫を考え実践する	評価	5	4	3	2	1	
14	緊急時に連絡を取り合う手段と方法を整備する	評価	5	4	3	2	1	
15	産業保健チーム内での情報共有のしくみを取り決め実施する	評価	5	4	3	2	1	
16	産業保健チームメンバーの能力や特性を見極めつつ役割分担する	評価	5	4	3	2	1	
17	産業保健チームメンバーを信頼し任せる	評価	5	4	3	2	1	
18	産業保健チーム内で相互に支えあう環境をつくる	評価	5	4	3	2	1	
19	産業保健チームの活動の効果が上がるよう目標と方向性を合わせる	評価	5	4	3	2	1	

産業保健専門職としての一貫性

専門職としての役割を適切に認識し、その姿勢を維持続ける力

備考

20	産業保健専門職としての役割を適切に認識し、専門職として一貫した姿勢をもつ	評価	5	4	3	2	1	
21	災害時の経験を平時の産業保健実践に活かす	評価	5	4	3	2	1	
22	被災者である自身の状況も考慮しながら職務を果たす	評価	5	4	3	2	1	

備考

23	災害によって生じる社員の健康問題の背景を総合的に理解し、問題の本質を見抜く	評価	5	4	3	2	1	
24	被災者である社員の気持ちや状況を敏感に察知して共感する	評価	5	4	3	2	1	
25	自分の特性や限界を理解した上で選択する	評価	5	4	3	2	1	
26	災害フェーズや状況に柔軟に対応しながら効率的な産業保健活動をすすめる	評価	5	4	3	2	1	

このコンピテンシーリストは、平成30～令和2年度厚生労働省科学研費補助金(労働安全衛生総合研究事業)「災害時等の産業保健体制の構築のための研究」(H30-労働-一般-007)の分担研究「災害時に求められる産業保健職のコンピテンシーに関する調査」の研究成果により開発されました。